

3歳になった

ぼくの

わたしの

色はどんな色？



個性の芽をはぐくもう

他の子と比較して「どうしてうちの子は…」と低く評価してしまうことはありませんか？小さな個性の芽を見つけたら、大人はそれを伸ばしていく関わりをしていきましょう。お子さんにはそれぞれの色（個性）があります。

ダメダメと言われながら育つ環境では、自分を肯定できず、がんばることができません。ここがダメと引き算せず、伸びるかもしれないと足し算をしてみましょう。個性の芽を長所にするのも短所にするのも関わり方によって変わっていきます。

自己主張はうまく活用！

自分でやりたい！など自己主張をする感情が芽生えてくる時期です。子どもの自己主張をうまく活用しながらトイレトレーニング、着替え、歯磨き、お手伝いなど少しずつ自分でできることを増やしていきましょう。やりたい！という子どもの気持ちを大切に。上手にできなくても、挑戦した気持ちを褒めて自信をつけてあげましょう。

お友達と遊ぼう

子どもは集団遊びのなかで、自分とは違う個性をもった人に出会い、時にはぶつかり合いながら社会性や個性、自主性をはぐくんでいます。トラブルになることもありますが、その経験を通して解決方法を学び、相手の気持ちを知り、自分の心を育てていきます。色々なお友達と遊んで、たくさん経験をつみましょう。

先の見通しを伝えよう

徐々に聞く力がついてきましたが、大人のようにすぐに切り替えられるわけではありません。「言うことを聞いてくれない」と怒る前に先の見通しを伝える声かけを試してみましょう。

名前を呼んでこちらに注意をむけ、こちらに気が向いたのを確認してから「これからお出かけするからお着替えしようね」等と声をかける。お子さんも次にする行動が分かれば、切り替えしやすくなります。

【お問い合わせ】川越市役所 母子保健課（総合保健センター内）

☎049-229-4125

R6年4月作成